

「野の花の丘便り」6月下旬

蕾が出揃っています

夏至の時期になり花たちは成長のピークを迎えています。ヤナギラン、エゾクガイソウ、オカトラノオ、コバギボウシノハナショウブ、エゾカワラマツバ、ヒヨドリバナ、ヨツバヒヨドリなど「野の花の丘」を彩る夏の花たちは蕾をつけ始め、楽しみな花の季節を迎えようとしています。

順調に生育していく中で、ツリガネニンジンが今年は鹿の食害にあってか、少なくなってしまうています。

ツリガネニンジンの春の若芽はトトキと呼ばれ

「山でうまいはオケラにトトキ、里でうまいはウリ、ナスビ」と美味しいものの一つに例えられているくらいですので鹿にとっても大変なご馳走なんでしょうね。

真駒内公園のカタクリも今年は鹿に食べられ少なくなつて困っています。クマに比べたらまだましとしても、雑草だけではなく、また余計な厄介者が出てきました。

世の中、予期せぬいろんなことが起きるものですね。

蕾が出てきました

ヤナギラン



エゾクガイソウ



オカトラノオ



鹿に食われた！

コバギボウシ



ノハナショウブ



ツリガネニンジン

